

脳卒中

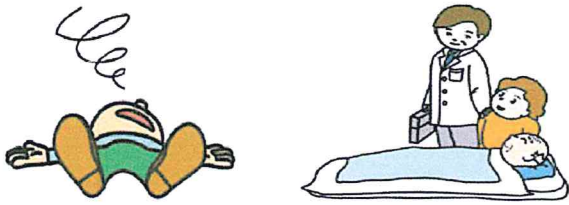
NO. 12-1

「卒中」とは中国の古い言葉で「急に倒れる」と言う意味です。「脳卒中」は脳が原因で急に倒れる病気です。

わが国の死因の第3位です。高血圧の治療や予防が進んだこと（農村の減塩運動や救急体制の充実など）や又CTなどで容易に診断できるようになり死亡数は減っていますが、手足の麻痺や言語障害などの後遺症が残り患者数は増えています。

（寝たきり老人の約4割は脳卒中患者といわれています）

◆早期治療は病気の回復を早くし、軽くします。

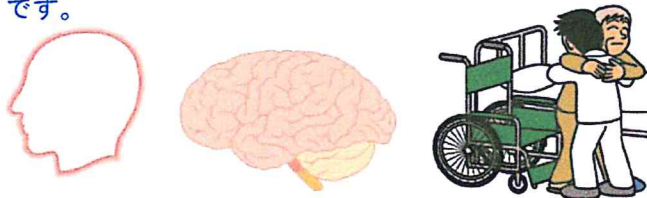


▼脳卒中とは。。。。

「脳の血管」の病気を表す総称です。

脳内出血・くも膜下出血・脳梗塞・動静脈奇形からの頭蓋骨内出血などを含めて言います。

脳の血管が詰まったり破れたりして、脳の機能が障害され、麻痺や意識障害などさまざまな症状を出す病気です。



《出血性疾患》

★脳（内）出血

脳の中の血管が破れる病気です。出血した血液が脳組織を圧迫し、半身麻痺などの神経障害・意識障害を起こします。
高血圧が誘因といわれる疲労、精神不安定、寒冷刺激などが影響します。（軽い場合は意識障害などは起こしません。生まれつき血管が弱く出血する場合もあります。）



★くも膜下出血

脳は、くも膜という膜で覆われていますが、くも膜の下で出血（動脈にコブが出来て破裂）することをいいます。



ひどい頭痛と悪心、嘔吐があり意識が混濁。（遺伝の要素が強く、若年～40、50代に多い）

再出血の危険があるため早期手術が必要です。しかも合併症による死亡率も高く恐ろしい病気です。軽い場合は上記の症状がそろいません。

★頭蓋内出血：動脈と静脈異常の間で奇形をつくる脳動静脈奇形などがあります。

《閉塞性疾患（脳梗塞）》

★脳血栓

「脳自体の血管」に「血栓」と呼ばれる。カタマリが出来ることで、血管が詰まってしまう病気です。（動脈硬化などが原因）脳梗塞の7割をしめる。頭痛、手足のしびれや脱力、舌のもつれ、半身麻痺、時には多くの場合意識障害などを起こします。（最近では、発病から6時間以内、とくに3時間以内の治療開始が好成績を生んでいます。）

★脳塞栓

心臓や首などの太い血管に出来た大きなカタマリが血液の流れに乗って、脳の血管を詰まらせてしまう病気です。ケイレン・半身麻痺・意識障害などを引き起こします。

脳卒中の危険因子

動脈硬化、高血圧、糖尿病、心臓病、高脂血症、喫煙、ストレスや過労、過度の飲酒、急激な温度差、遺伝や年齢などです。



◆健康診断や脳ドックを受けてみましょう。

脳ドックなどでたまたま見つかる脳梗塞があります。。。。。「無症候性脳梗塞」といいます。

手足のしびれやろれつが回りにくい、水が口からこぼれる等の症状が出た場合はMRIの検査を受けましょう。時間がたつと治療の効果がなくなります。

<トピックス>

●血の色（動脈と静脈）

血液は、赤血球・白血球・血小板・血しょうから出来ています。血液の赤い色は、赤血球の色です。赤血球にはヘモグロビンという色素が含まれ、ヘムという赤い色素とグロビンと呼ばれる蛋白質から出来ています。

（ヘモグロビンは酸素と結びつくと鮮やかな赤い色になり、酸素を失うとどす黒い赤い色になります。）

★ 動脈血：酸素を体のすみずみまで運ぶので、鮮やかな赤い色をしています。

★ 静脈血：体内の不要物や二酸化炭素を集めてくるので、どす黒い赤い色をしています。